

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課  
附属学校を置く各国・公立大学法人附属学校事務主管課 御中

文化庁参事官（芸術文化担当）付学校芸術教育室

令和6年度「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業  
（芸術教育における芸術担当教員等研修事業）」事務局

## 令和6年度芸術系教科等担当教員等全国研修会の開催について（依頼）

日頃から文化庁の事業にご協力いただきありがとうございます。

さて、令和6年度の芸術系教科等担当教員等全国研修会については、下記の通り実施することとなりました。ついては、本研修について周知いただくとともに、全国研修会（第1回及び第2回）の受講希望者について、（別紙1）「受講希望者の報告等について」に基づき、各主管課等でとりまとめ御報告ください。

### 記

#### 1 目 的

芸術系教科等担当教員等に対し、学習指導要領の趣旨を踏まえた理論研修・実践研修を実施し、指導方法や評価方法等の工夫改善等につなげ、初等中等教育の芸術系教科等における指導の充実に資することを目的とする。

#### 2 主 催 文化庁

#### 3 協 力 全国芸術系大学コンソーシアム及び協力大学

#### 4 開催期間

第1回：令和6年9月30日（月）～令和6年10月4日（金）

※オンライン開催日：令和6年10月2日（水）

第2回：令和6年12月9日（月）～令和6年12月13日（金）

#### 5 日程（予定）

9:00	9:30	9:45	10:45	11:00	12:00	13:00	17:00
受付	開講式 ※1	理論研修 （教科・科目別） ※1	休憩・準備	テーマ別 実践研修 （教科・科目別） ※2	昼食	テーマ別 実践研修 （教科・科目別） ※2 ※3	

※1 午前中の開講式は、動画視聴を予定。理論研修については、選ぶテーマによって動画視聴または担当視学官・調査官の登壇を予定。

※2 テーマ別実践研修は、選ぶテーマによって受講方法が決まる。（参集またはオンライン）

※3 担当視学官・調査官が出席の場合、20分間の全体講評（16:40～17:00）を実施予定。

#### 6 カリキュラム内容

- 理論研修では、芸術系教科の意義、役割、新学習指導要領の趣旨を踏まえた今後の学習指導における課題や可能性、学習指導の在り方や学習評価等についての講義を、文化庁教科調査官等が担当して行います。
- テーマ別実践研修は、学習指導要領の趣旨やねらいの実現を目指す授業を展開するための実践手法を中心とした研修プログラムとします。具体的には、「A 表現」及び「B 鑑賞」の授業実践と結び付いた実技研修、教材研究の方法、実践事例を通した指導法の検討、指導に生きる学習評価の実際等とし、芸術系大学教員や広く活躍している芸術家等が担当として行います。

(3)各研修は、次のとおり開催します。

教科・科目	第1回(9月30日～10月4日)		第2回(12月9日～12月13日)	
	研修番号	予定定員	研修番号	予定定員
小学校音楽科	小音1	オンライン 50名	小音3	参集 40名
	小音2	参集 50名	小音4	参集 50名
小学校図画工作科	小図1	参集 20名	小図3	参集 20名
	小図2	参集 10名	小図4	参集 10名
			小図5	参集 20名
中学校音楽科 高等学校芸術科(音楽)	中高音1	参集 40名	中高音4	参集 50名
	中高音2	オンライン 50名	中高音5	参集 20名
	中高音3	参集 50名	中高音6	参集 30名
			中高音7	参集 40名
中学校美術科 高等学校芸術科(美術)	中高美1	参集 20名	中高美4	参集 20名
	中高美2	参集 20名	中高美5	参集 25名
	中高美3	参集 25名	中高美6	参集 40名
			中高美7	参集 10名
			中高美8	参集 20名
中学校美術科 高等学校芸術科(工芸)	中美高工1	参集 15名	中美高工4	参集 20名
	中美高工2	参集 20名	中美高工5	参集 20名
	中美高工3	参集 20名	中美高工6	参集 12名
高等学校芸術科(書道)	高書1	参集 40名	高書2	参集 40名

※第1回及び第2回分のテーマ別実践研修の開催日、研修テーマ等については、(別紙2)「全国研修会の研修テーマ等について」を参照してください。

※各研修の概要(シラバス)については、(別紙3)R6 全国研修会シラバス一式を参照してください。  
尚、シラバスの内容が後日変更となった場合は、事務局より別途連絡します。

## 7 研修方法(参集またはオンライン)

- 今年度は受講するテーマによって、参集開催か、オンライン開催かが決まります。
- 参集開催のテーマの場合は、各会場までお越しください。
- オンライン開催のテーマの場合は、カメラ、マイク機能のあるPC(ノート型、タブレット型等)、またはスマートフォンが必要です。受講場所は、各受講者の状況に応じて設定してください。
- オンラインでの研修は、オンライン会議システムを使用して行います。

## 8 受講者

### (ア) 受講資格

- ・小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教諭等であって、芸術系教科等を担当している者又は予定している者。(非常勤講師等を含む)
- ・都道府県、指定都市教育委員会等の指導主事等。

併せて以下の要件もご確認ください。

※原則として、終日研修に参加できる者

※参集研修を受講する場合は、担当大学が指定する会場に終日滞在できること

※オンラインで研修を受講する場合に必要な機器、受講場所等を準備できること

(イ) 受講募集人数

- ・各都道府県、指定都市等から第1回、第2回それぞれ教科・科目ごとに募集人数の目安を定めます。
- ・募集人数については、受講を約束する人数ではなく、教科・科目ごとの分科会数を基に設定されたものですので、御留意ください。

小学校音楽科：2名

小学校図画工作科：2名

中学校音楽科/高等学校芸術科(音楽)：3名

中学校美術科/高等学校芸術科(美術)：3名

中学校美術科/高等学校芸術科(工芸)：3名

高等学校芸術科(書道)：1名

・極力、所属自治体近くの大学での受講を検討ください。

- ・私立学校、国公立大学附属学校はそれぞれ別途受け付けます。
- ・各分科会の受入れ可能人数を超えた場合は、調整することがあります。受講者選定にあたり、各都道府県等に優先順位についてお伺いする可能性があります。
- ・上記募集人数の他、各教科・科目ごとに追加申込みを受け付けます。

受け入れ可能人数を下回った場合は、追加申込みまたは受講希望者名簿の「受講希望順」に記入された第2希望・第3希望の中から、受講人数を補充、調整することがあります。

- ・受講資格を持っていても、第1回、第2回を重複して受講することはできません。

(第1回を受講する方は、教科・科目に関わらず第2回分の受講希望を出すことはできません。)

(ウ) 受講希望報告

各教育委員会等は(別紙1)「受講希望者の報告等について」に基づき、「受講希望者名簿」を作成し、第1回(令和6年9～10月開催)分は、令和6年8月15日(木)までに、第2回(令和6年12月開催)分は、令和6年10月17日(木)までに、事務局宛に電子メールで報告してください。

9 受講者の決定

- (ア) 第1回(令和6年9～10月開催)分については、8月下旬を目途に、第2回(令和6年12月開催)分については、11月上旬を目途に受講者を決定し、各教育委員会等に対して通知します。

- (イ) 受講希望者が多数の場合は、文化庁で調整の上、決定・連絡します。

10 その他

本研修会は、目的に基づき芸術系教科等に関する理論及び実践研修を中心とするものであることを理解した上で、受講希望者名簿を提出してください。

- (ア) 本研修終了後に、受講者アンケート等を行います。また、本研修会の受講後、本研修会の成果をどのように活用したか等について、報告を求めることがあります。
- (イ) 研修会の受講に係る服務等については、各教育委員会、所属校等の判断によるものとします。
- (ウ) 申込用の「受講希望者名簿」のエクセルファイルは、メールにて送付します。

【添付文書】

- ・(別紙1) 受講希望者の報告等について
- ・(別紙2) 全国研修会の研修テーマ等について
- ・(別紙3-1) R6 全国研修会シラバス一式【第1回実施分】
- ・(別紙3-2) R6 全国研修会シラバス一式【第2回実施分】
- ・(都道府県名等) R6 第1回受講希望者名簿(様式) / R6 第2回受講希望者名簿(様式)
- ・令和6年度 芸術系教科等担当教員等全国研修会 パンフレット

【本件担当】文化庁参事官(芸術文化担当) 付 学校芸術教育室 芸術教育推進係

【本件問合せ先】令和6年度「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業(芸術教育における芸術担当教員等研修事業)」事務局 (担当: 稲田、早川、小山)

電話: 03-5657-0867(直通) E-mail: artedu-kensyu@jtbcom.co.jp